

## 今月のKYT（危険予知トレーニング）

片側1車線の雪道を走行しています。

道路は少し下り坂で、穏やかなカーブになっています。

自車はこのまま進んでいきたいのですが……。

下記のKYTトレーニングを実施し、自己の危険予知能力を高めましょう！

### Q KIKEN YOCHI TEST あなたはどのような運転をしますか？

①イラストを見て、この運転場面にひそむ危険要因を挙げてください。

②この場面での安全な運転方法について考えてください。



◎ 予想される危険を記入して下さい。 氏名

1

2

3



# 知ト 予イ 険ポ 危

- ① 下り坂でスリップし、雪壁に衝突する。
- ② カーブで対向車と衝突する。

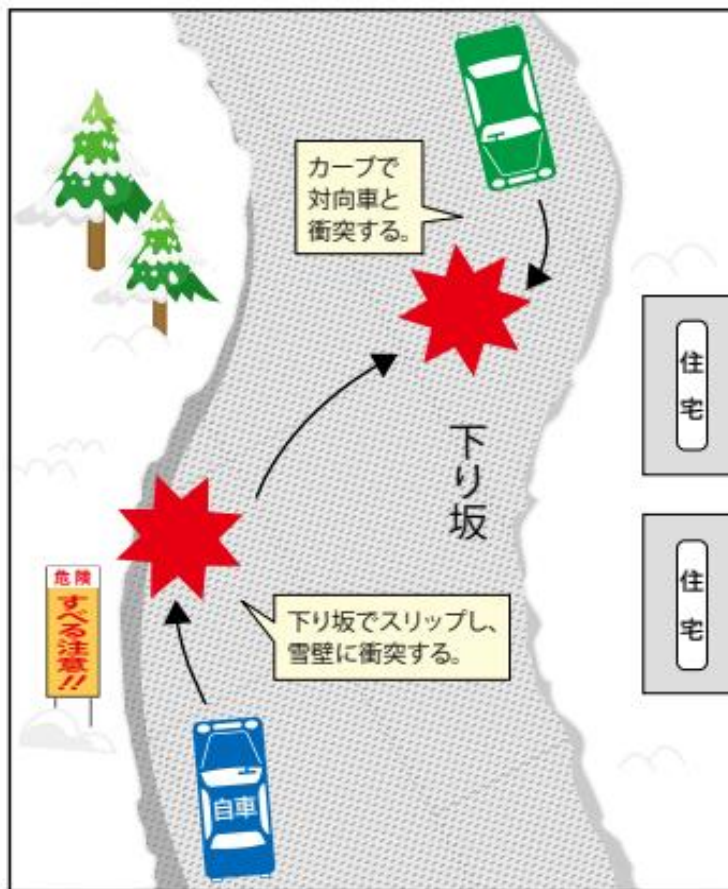
## 雪道ではスリップに注意する

左側にスリップ注意の看板があり、スリップしやすい場所であることがわかります。

下り坂はスピードが出るため、平坦な道路より慎重に運転することが大切です。雪道の急ハンドルや急ブレーキはスリップを招いて事故につながるため、「急」がつく操作をせずに済むよう、速度を落として走行しましょう。

## 雪道のカーブでは対向車に注意する

雪道の下りカーブで対向車とすれ違おうとすると、スリップした際に反対車線にはみ出して、対向車と衝突する危険があります。こうした場面では、対向車をやり過ぎて余裕を持ってカーブを抜けられるようにしましょう。



雪道運転では十分に車間距離をとることもポイント。

KYT (危険予知訓練) は、交通場面を見て、どこに、どういう危険があるかを想像することで、危険を予測する訓練法です。

日々KYTを行い、危険感受度を高めて危険回避に役立てましょう。

※ 毎月配信しています。有効に活用し事故防止にお役立てください。